工業っ子

NO.068
―発行日―
2012.08.09
―編集―
長崎工業高校新聞部
―発行―
長崎工業高校新聞部

熱き戦い 自信のもてる内容
ものづくり九州大会 自動車整備 電気工事
自動車整備・準優勝！

自動車整備部門

七月十四日、十五日に大分県立鶴崎工業高等学校、大分高等技術専門校で開催された「高校生ものづくりコンテスト九州大会」。自動車整備部門にP3岩下裕亮君、電気工事部門にE3木下福男君が出場。岩下君が第二位に入賞しました。

今回現地取材はできませんでしたが、後日、大会の様子についてお話を聞いてみました。

◀素早く正確な作業

▼完璧な整備を見せてやる！

▲ピカピカボディ

自動車整備部門で二位になったP3の岩下君。「難しかったが、自分の実力を出せたと思う」と大会を振り返って話してくれました。そして、後輩に向けての一言をお願いすると「諦めたらそこで試合終了だぞ！」と厳しい一言。岩下君もきっとこの気持ちを胸に秘めて試合に臨んでいたのだと思います。指導担当の岡本先生は「ちゃんとやれる事はやっていた。お疲れさん」と優しいコメント。

電気工事部門

電気工事部門に出場したE3木下君。大会での感想は「実力を発揮する事が出来たのでよかった」とのこと。そして後輩へ「来年こそは九州を取れるように頑張ってほしい」と。

惜しくも優勝は逃しましたが、九州二位は素晴らしい結果です。岩下君、お疲れ様でした。

また、大会を見られた土山先生は「それぞれの代表がいる中でも熱心に落ち着いて取り組んでいたと思う」と話されました。指導の原口先生からは「結果は付いて来なかったけど、センスあるぞ」とのコメントをいただきました。

出場された岩下君と木下君。三年生二人の社会に出てからの活躍に期待です。

節電のススメ

また今年も夏がやってきました。部活の後などはやっぱり涼しい部屋に入りたいですよね。しかし、今世の中では「節電」が叫ばれています。私たちの生活には切っても切れない電気という存在。では私たちの生活から電気をとるとどうなってしまうのでしょう…。

まず、朝起きてリビングに向かうとテレビはついておらず、ご飯は炊くことが出来ない。冷蔵庫も止まっていて食べ物は少しずつ腐敗していきます。学校に行くためにバスに乗ると信号が機能しておらず道路は混乱状態。パソコンや機械関係のものも一切使えないなど現代社会で電気のない生活など考えられません。だからこそ「節電」をすることが大切なのです。

皆さんは今、節電を行っていますか。今年は長崎でも計画停電が予定されています。日々の小さな積み重ねで使用電力を抑えること、それが最も効率よい節電に繋がっていくように思います。例えば、携帯電話の充電器を挿しっぱなしだと待機電力がかかるので、使わないときはコンセントから抜いておく。これはさまざまな電化製品の使用の際に少し心がけると実行できる節電です。長工にも沢山あるパソコン。画面の明るさを暗めに設定することでも節電効果を得られます。

また、エアコンを離れ夏らしくプールや海に行く、家に緑のカーテンを作る、風鈴をつけるなども良いと思います。それでも「暑い」ときはクーラーが効いた図書館で読書をすれば、涼も得られ知識も蓄えられ節電もできます。一石三鳥の公共施設の利用です。今年の夏、いつもと視点を変えた過ごし方を考えてみませんか。過ごし方を工夫していく中に、もしかしたら省エネルギーで効率よく電気を確保出来る方法発見のヒントがあるかも知れません。

（畠道）

考えて！就職・進学の疑問

夏、三年生は就職・進学試験に向けて慌ただしい日々。三者面談もあり、一、二年生も進路について考える。特に一年生は疑問、不安がいっぱい…。

▼求人票に見入る３年生

（7月・進路指導室にて）

解決！一年生の疑問

まずは、一年生の小さな疑問解決のために、進路指導の上野先生の所へ。

Q最低どれぐらいの評定があれば希望の就職先へ行けますか。

▼評定も大切ですがコミュニケーション能力も大事！ただ、テストで六十五点以上を心掛けること。物理の勉強は大事。評定は就職・進学するうえで大切ですが、すべてが評定で決まるわけではないので、自分の内面も磨きましょう。

Q高卒で働いてやっていくことが出来ますか。

▼できます。技能職や技術職で高卒を活かす会社があります。

Q進学校よりも学力を上げるためにはどれくらい勉強すれば良いですか。

▼普通科目が追いつくことは難しい。自分が得意なことを生かしていく。

QAO入試がよく分かりません。

▼簡単に言うと自己推薦。大学が望む人物像になる。

Q各科の就職の特徴は。

▼M・P科：県内希望が多い。／A科：公務員が結構多い。公務員の仕事があるらしい。しかし長工は公務員に行く人は少ない方である。／**その他の科**：県外就職が多い。

聞いてみた！三年生の腹の底

疑問が解決したところで進路決定を目前にした三年生に今の気持ちをインタビューしてみました。

Q今の気持ちをお願いします。

▼悩んでる／第一志望に行きたい／受かりたい／怖い／死にそう／難しい

Q一、二年生に今だから言えること。

▼テストの成績は大事／勉強した方がいい／僕の口から言える事は何もない。ただ一日一日を全力で。ただそれだけです／評定を上げておけば何とかなる／部活を頑張れ

まだ一年生にとって現実味が薄い進路ですが将来のためにも今から少しずつ就職・進学先について調べておくのがいいと思います。夏休みの間に一度進路指導室へ行ってみるのはどうですか。

ニューヨーカーな二人 ～日本の猫の尻尾は短かった～

七月十九日、校内競技大会二日目の放課後。本校ALTのブライアン先生の弟、エミールさんが来校されていました。ということで早速、インタビューをしました。

Q長崎工業の印象を。

―みんなプロ意識が高い。生徒も親切だし、ゴミをきちんと分別していて校内が綺麗。工業高校ならではの器具や道具がすごいと思った。

Q日本に来て印象的だったことは何ですか。

―ジャージや点字ブロックなどがとても興味深いと思った。回転寿司でお寿司を運んで来る新幹線には感動した。

Q長崎の印象はいかが。

―山が綺麗。平和祈念像も凄いと思ったが、何よりも猫の尻尾が短いことに驚いた。

Qニューヨークと日本、どんな違いがありますか。

―日本は暑いし、雨が多い。職業ごとに制服があったり、学校の面積が広い。他にもすれ違う時にわざわざ頭を下げる（ニューヨークでは、生徒と教師とでも握手のような挨拶をする）など、ニューヨークとはかなり違っている。

エミールさんはほぼ日本語が分かりません。ブライアン先生が翻訳機を使いながら私たちが分かりやすいように訳し、なんとか日本語でインタビューに答えてくれました。最後に「とっとこ」や「がんばらんば」などの長崎弁を二人に教えてインタビューは終了。

聞く方も聞かれる方も終始笑顔の楽しいお話となりました。

▲「えふぃしぇんと」はこれ！

青春日記♪

季節は夏。バリバリの夏休み！しかし、三年生は気心休まらぬ就職戦線の真っ只中…。遊ぶ暇もありません。一、二年生よ、今のうちに楽しみたまえ。そしてしかるのち、君達も苦しみたまえ。それが長工の青春である。青春の都こんぶのような甘酸っぱさを嫌と言うほど味わうがよい。

さて夏休み、なう。海に行く人、祭りに行く人、旅行に行く人。皆さんそれぞれに夏休みの予定があることでしょう。夏休みの予定はドイツ研修だけの私は、夏休みを悠々と楽しむリア充男子が憎い。私の器は醤油皿並みの小ささを誇ります。そんな器では女子はおろか友達すら寄ってこない。私はリア王ばりの悲劇の中に生きています。ああ、誰か私に予定を。しかるのち、愛を。

そんな私が唯一楽しみにしているのは、もちろん今話題のオリンピック。特にサッカーだけは欠かさず見ている私。しかし、オリンピックの会場はロンドン。時差の関係上、中継は基本的に夜中。そして事件は男子サッカー予選、モロッコ戦で起こりました。私は眠い目をこすりながら、試合開始の時間まで宿題を消化。

そして時間。いよいよ始まる試合。選手入場。そして国歌斉唱。君が代が流れ、日本選手の顔が映し出され、いよいよな雰囲気に。次はモロッコの国歌斉唱…。ここまでで私の記憶は途切れました。試合時間まで起きていられたことで一瞬気を緩め、その隙を今や今やと待っていた睡魔の一撃にやられ、目を開けたら時計は六時。試合の感想は「モロッコの国歌ってこんな曲なんだー」しかありません。

我ながらやってしまいました…。しかも試合は1対0で日本の勝利。永井のゴールが見たかった。しかもうっかり寝てしまったので、しっかりクーラーをつけっぱなし。翌朝オカンに怒られたのは言うまでもないでしょう。

皆さんも、オリンピックの時差と睡魔とエアコンのつけっぱなし。そして水難事故には十分に注意を。海に行っても、足のつくところで泳ごうね。新聞部のお兄さんとの、約束だぞッ。

（古賀）

夏だぜ! てふ互生!!!

～三者面談編～

まさかの全否定。ドンマイ。

環境講演会

踏み出せ一歩、革命はコンビニから 7

六月二十日、本校にて開催された環境講演会。講師はセブンイレブン記念財団の小野弘人さん。他国の環境に対する取り組みや、これからの環境対策活動について講話をしていただきました。

さまざまな環境問題が話題になっている今、伺ったのは『環境大国ドイツと日本の違い』。「ドイツは原発を全面停止するなど、環境に配慮している国だと考えられている。しかし、火力発電のエネルギーを確保するために炭鉱の大規模開拓をして広大な土地を切り開いているので、必ずしも環境にいいというわけでは無い。環境的に問題がある部分は日本と何も変わらない。だが、日本人はあと一歩というところで踏み止まってしまっている。小さなことと思わずに、でもいいから少しずつ積み上げていくことが大事」と自分たちの住む国についても考えさせる言葉。日本人はもっと環境に関心を持ち、動くことが必要なのでしょう。

▼新聞も見て頂きました！

セブンイレブンの活動について聞いたところ「お金を儲けるだけではなく、地域の人々との共生が大切。環境に負荷をかけない店づくりをしたい」との答え。やはり一つ目の質問で答えていただいたように、小さなことを積み重ねていくことが大切だそう。

「日本の社会の制度を変える事」それが最後に聞いた、小野さんの人生の目標。環境について改めて深く考えるいい機会になったと思います。

人生の達人セミナー

本気になれば実現できる!!

七月十一日、心に響く人生の達人セミナーが行われました。講師の石橋佳之夫さんは弁理士として事務所も運営。高校は長工の電気科卒業です。本気になれば夢は実現できる、と強く語られる姿が印象的でした。講話後、お時間を頂きお話を伺うことができました。

▼人生の先輩達（小野さん：左 石橋さん：右）

Q講話で本気で取り組んでいないとおっしゃっていましたが、なぜそう思ったのですか。

A甘さがあり、生活の全てで勉強をしていなかったからです。合格するためには時間さえあれば勉強という状態つくる必要があり、そうしなければならなかったのです。

Q社会に出てから、どのような時に勉強の必要性に気付いたのですか。

A人と付き合い、仕事をしていく上で勉強しなければならないと気づいたんです。自分自身に投資するのは自分を成長させるため、自分が幸せになるためです。

Q今までで一番印象に残ったお仕事は何ですか。

A特許を取る仕事を生かして、訴訟を行ったことです。和解して和解金も貰い、勝つことが出来て良かったです。

Q趣味をやっていて良かったことは。

A下手は下手なりに、やればやるほど上達が見えることです。達成感が味わえます。

Q検定の勉強のコツを教えて下さい。

A同じ志を持つ仲間とゼミをすることです。WIN、WINの関係。ライバルであるが、一緒に合格を目指す事がポイント。

Q今と昔、長工を比べてみてどうですか。

A行儀が良くなっています。雰囲気が紳士的になっていますね。

Q長工での一番の思い出は何ですか。

A化学の実験でアルコールランプに直接火を点けて人に怪我を負わせたことですね。それ以来、化学の授業はダメでした。あとは良い思い出で同じクラスの仲間とは今でも連絡を取り合っています。

十三年かけて弁理士になる夢を実現できたのは、覚悟を持ってその目標のために全てを犠牲にして努められたからだとか。高校ではあまり勉強は得意ではなかったそうですが、頑張って弁理士になられた石橋先生。人生はいつでも自分の努力次第でどうにでも変えられるとのメッセージを強く感じました。目標に向かって熱中することも、家族や趣味もどちらも大切なのだと分かりました。

貴重なお話をありがとうございました。

▼達人が語る

もっと聞く、学ぶ。

言いたいこと言っちゃおう 育友会と生徒の懇談会

親はいつも子どものことを見ています

七月二十三日、会議室にて行われた育友会と生徒の懇談会。毎年恒例のこの行事。県内の高校では本校が唯一の開催です。今年は保護者九名、生徒三十名が参加し、日頃はなかなかできない保護者と生徒の意見の交換を行いました。

参加者全員の自己紹介を終えたあと、いよいよ話し合いがスタート。

今年の話し合いのテーマは『資格取得に関して』『長工に来た目的』『長工への不満』『長工への要望』の四つ。山田会長が中心となって進行し、生徒も保護者も一緒になり議論が行われました。最初は緊張していた生徒も、話が進むにつれてすっかりリラックスした様子。最後はこの機会だからこその生徒の願望、心の叫びを連発。最初は見て見ぬふりだった机上のお菓子もいつの間にか減っていました。

懇談会終了後、保護者の方にお話を伺うと「皆が自分の意見を持っていて良かった」と一言。山田会長も「毎回新鮮な出会いができる」と好印象。

冷房が壊れ、熱気全開の会議室。懇談会というより茶会。保護者と生徒が楽しく意見交換をすることが出来ました。

▼これが僕の意見です

▼おはようございます

あいさつ運動

清々しい朝は挨拶から!

七月九日から一週間、毎朝八時から三十分間、生徒玄関下で行われたあいさつ運動。今回は先生方に加え、保護者の方々の参加もあり、賑やかなあいさつ運動となりました。保護者の方の参加は昨年の十一月に引き続き二回目。新聞部も参加してみると、列の間を大声で挨拶する生徒、驚きながら挨拶する生徒など対応はさまざまでした。

ここで参加した方々にお話を伺うと…。

―普段は生徒の顔が見られないのでやって良かった。

―返ってくる挨拶が気持ちいい。爽やか。と好評価を頂きました。

この運動をきっかけに、学校だけでなく、地域、家庭の中でも普段から気持ちの良い挨拶ができるようにしたいものです。

長工を目指す中学生たち 学校説明会 数えてみよう ～番外編～

暑い夏。夏といえば学校説明会。七月八日にブリックホール、二十二日に時津カナリーホールで行われました。

…ということで取材へ向かった新聞部。そのついでに急遽決まった「説明会へ参加した生徒と保護者の人数」を数えてみよう企画。たかが人を数えるだけ…と思っていましたが、現実はそう甘くありません。同じ人を二度カウントしたり、中学生から不審な目を向けられたり…数々の問題に遭遇しました。さてさて気になる結果は―

生徒…二百八人
保護者…三百三人
合計…五百十一人

という結果に。

そして調査中、説明会へ参加された方に「長工の何に興味があるのか」を突撃インタビュー。生徒が特に興味をもっていたのは「情報のプログラミング」「インテリアデザイン」「機械」など。やはり、情報技術科は不動の人気です。そして今年は建築系の学科も負けじと人気のようでした。

一方、保護者の方々は「積極的な資格取得」「就職、進学率の良さ」という意見が主でした。

▲お披露目!!

一年生な☆日々

夏の季節となりました。外はムシムシ蒸し風呂状態。部屋の中は涼しくて天国です！でも天国にいすぎて、天罰が…。風邪引きました。治らない。

さて、高校初の夏休み。中学時代はなかった補習、難しくなった宿題…。そして昨年の夏休みの目標、とにかく早く宿題を終わらせただらだらする。目標というより願望。私の昨年までの生活は、ちょっと勉強→寝る、の繰り返し。そして何か一つ面倒な宿題が残って…。テンションが下がるいつもの夏休み。夏休みはもっと楽しいはず！暑い中食べるカキ氷。お祭りで見る、きれいな花火。（流れ星も見たいな）今年の目標は、七月中にレポート以外の宿題を終わらせてエンジョイ！テスト勉強もしっかりやって余裕の二学期を迎える！…そう言ってはみるものの、実際上手くいくかまだまだ分かりませんが。

それではみなさんも充実した夏休みをお過ごしください。

（横山）

長工のキーワードである「多様な進路」「資格取得」が特に大きな魅力のようです。

さて、今回の調査はいかがでしたか。これからも、長工の良さを伸ばしていけるように、目標に向かって頑張っている生徒が志望してくれるといいですね。

編集後記

暑い。だから夏は嫌いです。夏休み前半は、補習と部活の地獄サイクル。いいから新聞作れと先生からは無言のプレッシャー。これは夏休みですか。休んでいると言えるのですか。とにかく新聞を仕上げて、早く「休」まなければ。家に居る時こそ、夏の、本当の休み。